

『まちだ自慢』サポーター

スペシャルインタビュー

絵本作家・イラストレーター

中垣ゆたかさん

【プロフィール】

1977年福岡県小倉生まれ、町田市在住。2006年から本格的にイラスト活動を開始。同年の「ミュージック・マガジン」5月号から4コマ漫画「町田家、あさって、しあさって。」を連載開始(現在ブログにて連載中)。雑誌やCDジャケットのイラスト制作のほか、「ぎょうれつ」(偕成社)、「よーい、ドン!」(ほるぷ出版)など絵本作家としても活躍中。



歩くだけでふとアイデアが降りてくる不思議な街

Q 町田にはいつごろから住んでいるのですか?

中垣さん 9歳の時に、家族と横浜市青葉区に引っ越してきました。高校の終わりごろに今も実家のある成瀬へ引っ越してからは、ずっと町田に住んでいます。ひとり暮らしをしていた時ずっと町田で、結婚して部屋が手狭になったのをきっかけに、2年前から今の事務所兼自宅暮らししています。

Q 町田に住むようになる前は、中垣さんにとって町田とはどんな街でしたか?

中垣さん 実は青葉区に住んでいた頃から、友達と遊びに行ったり、その頃やっていたサッカーの道具を選びに行ったりするのはいつも町田だったんです。渋谷に行くより近くて何でもそろうので。当時の町田の印象はというと、都会で、何でも売っているところ、という感じでした。

『まちだ自慢』サポーターの一員である中垣さんは、市内在住の絵本作家・イラストレーターとして活躍されています。

中垣さんの描くイラストは、繊細な線で個性的なキャラクターがたくさん登場するのが特徴です。以前から市内在住であることにこだわり創作活動を続けている中垣さんに、町田への思いや今後の活動についてお話を伺いました。

Q 実際に住むようになってからは、印象は変わりましたか?

中垣さん 街の雰囲気は随分変わって、近代的になったなあと思います。今は「東急ツインズ」に入っている「東急ハンズ」も、以前はもっと大きい建物に入っていましたし、残念ながら今はなくなってしまった映画館も、当時はいくつもありました。「109」ができたときは、「町田に109?」と少し違和感がありましたが、上の階には公民館(生涯学習センター)が入っていますよね。ギャルもお年寄りも集まるところになっているのが、なんとも町田らしいと思います。

Q 市内在住であることにこだわっているのはなぜですか?

中垣さん 2006年に雑誌で連載がスタートした4コマ漫画「町田家、あさって、しあさって。」という作品は、当時の担当編集者さんからの「町田に住んでいるならタイトルにも町田と入れてはどうか?」というアドバイスがきっかけで生まれました。それ以降は、市内在住であることを1つのアピールポイントと考えています。ときどきアイデアに煮詰まってしまうこともあります。そんな時は車を運転したり街に出るようにしています。繁華街をただ歩くだけで、ふとアイデアが降りてくるのが不思議ですね。そういう意味でも、市内在住であることに今後もこだわっていきたいです。

Q 町田という街がこうであってほしい、という希望はありますか?

中垣さん やはり、今のまま変わらないでほしいです。ただ、近い将来モノレールが町田にも延びるかもしれないと聞きました。そうなれば、町田の人は地元が大好きなので流出はあまり考えられませんから、流出よりも流入が大きく見込めると思います。周辺の都市から町田を訪れる人たちが今以上に増えるのかな?と期待しています。



中垣さんの『まちだ自慢』スポットはココ!

世界堂 町田店

画材や額縁など、絵にまつわるあらゆる物がそろったお店です。新宿などのお店に比べると建物は小さいのですが、取り扱っている品物は引けをとりません。画材はもちろんですが、作品を展示するための額もここに注文しています。(中垣ゆたかさん撮影)

所在地 原町田4-2-1



こがさかベイク

以前から前を車で通るたびに気になっていたお店です。白い壁と変わった形の建物が目を引きます。パウンドケーキなど焼き菓子の専門店、店内もおしゃれな雰囲気。2階にはカフェスペースやテラス席もあります。(中垣ゆたかさん撮影)

所在地 高ヶ坂5-12-1



中垣さんの個展が市内で開催されます!

『中垣ゆたか 絵本・イラスト展』(入場無料)

会期: 8月21日(金)~9月1日(火)

時間: 午前11時~午後7時(最終日は午後5時まで) 水曜日休

会場: ギャラリークリア(原町田4-6-8 スペランツァ町田2階)

絵本の原画や描きおろしのイラストを多数展示。オリジナルグッズ等の販売や、子ども向けワークショップも開催予定です。

『まちだ自慢』サポーター活動レポート



7月4日開催『まちだ自慢』ミーティング「まちだ商店街サンド」を作ろう!

7月4日(土)、市庁舎3階会議室で『まちだ自慢』ミーティングを開催しました。今回は、町田駅周辺を歩きながら、商店で食材を調達し、一人ひとりが世界でひとつだけの「まちだ商店街サンド」を作るという企画。

出席した17人のサポーターの皆さんが、買い物から調理まで行い、まちだの味があふれるサンドが完成しました。

「まちだ商店街サンド」を食べた後は、この企画を通して改めて感じたまちだの「魅力」や「らしさ」、魅力発信につながる活動のアイデアについて話し合いました。

今回の「商店街サンド」は、日本各地のローカルな魅力を伝えるウェブサイト「コロカル」との共同企画で行いました。

後日、「コロカル」のサイトに当日の様子が紹介されます。

まちだの魅力発信アイデアの話し合いをしました



それぞれの「まちだ商店街サンド」を作っています



完成した「まちだ商店街サンド」のひとつ



参加した『まちだ自慢』サポーターの皆さん